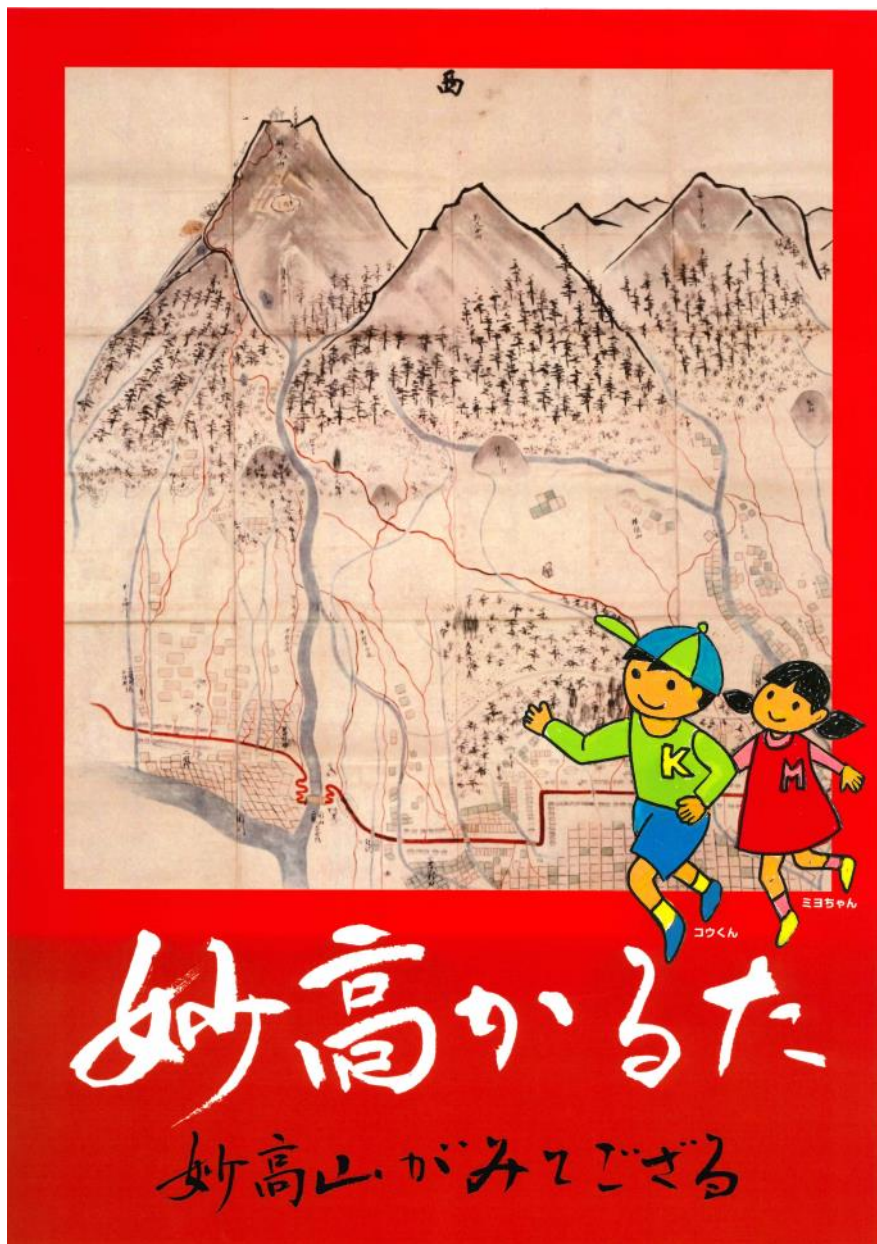


妙高かるた 絵札・読み札・お宝の解説



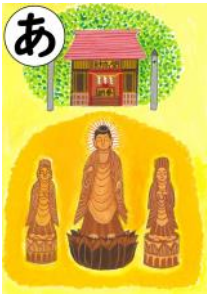
絵本の朗読25周年を迎えた今年、大型かるた3セットを妙高小学校に寄贈することができました。来年は、読み札の裏にお宝の解説を入れた小型かるたを作ります。解説をまとめるにあたり、妙高市教育委員会生涯学習課 学芸員 佐藤 慎 様と妙高（関山）の文化財を語る会 会長 川上昭治 様、妙高小学校長 福保雄成様から丁寧にチェックしていただきました。「妙高かるた」を本冊子にまとめていただいた妙高小学校の対応に深謝申し上げますと共に、ご理解とご支援いただきました保護者の皆様にご心よりお礼申し上げます。

子どもたちが、郷土の歴史や文化に誇りをもって育ってくれることを願っています。今後も、絵本を楽しむ会 ひだまりのメンバーは、子どもたちを見守り、寄り添ってまいります。

（絵本を楽しむ会 ひだまり 川上壽子）

昨年度、地域のお宝を学ぶ遠足を実施し、「妙高かるた」の制作に携わり、「妙高には、たくさんのお宝があり、それを守り伝え続けてくれる人々がいる。素晴らしい地域だ。ぜひ、子どもたちに伝えたい。」という思いを一層強くしました。「妙高かるた」は、妙高小学校区のお宝を知り、学ぶ上での貴重な教材として活用してまいります。保護者の皆様も本冊子を活用していただき、お子さんと一緒に「お宝」を訪ねてはいかがでしょうか。

（妙高小学校長 福保雄成）



あ 阿弥陀三尊像 (阿弥陀如来像：新潟県指定文化財)

阿弥陀三尊像は、江戸時代まで妙高山頂の阿弥陀堂に祀られており、妙高山は阿弥陀如来が治める「極楽西方浄土」として信仰されていた。この三尊は善光寺の本尊を模した「善光寺式三尊像」であり、現在は妙高堂に安置され、毎年7月1日の山開きに燕温泉で御開帳される。

あ 阿弥陀三尊のおられる妙高堂



か 宝蔵院要石 (沓脱石)

要石は、心字池の手前中央に置かれ、5mの滝落としと亀島、その上に妙高山の借景が眺望できる。代々の院主はこの神々しい景色に平穏を祈ったのであろう。また、要石の上から見える冬至日没の赤倉山と夏至日没の不動山の間が、宝蔵院の広大な領地であった。

か 要石から院主が眺めた妙高山



い 北沢の一里塚 (妙高市指定文化財)

一里塚は江戸時代に一里(4km)の目安として全国の街道に設置された。北国街道沿いの北沢では、一里塚の小高い丘の上に巨大なケンボナシの樹が茂っていた。残念なことに令和元年(2019)の5月、樹の中が腐り、倒木のおそれがあるため切り倒された。

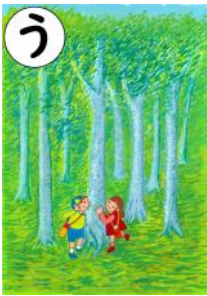
い 一里塚 旅人たちの道しるべ



き 経塚跡地

大正5年(1916)に戦没者の忠魂碑を建設しようと地面を掘ったところ、経典を入れた銅製経筒1点と珠洲焼壺3点、蓋2点が、発見された。この経塚は平安時代末期のものと考えられ、末法思想のもと地下に埋められた。まさにタイムカプセルといえる。現在、東京国立博物館が所蔵している。

き 経塚の大壺はタイムカプセル



う 花房のブナ林

標高700m以上の山に育つといわれるブナの木が寺尾集落の裏山に茂っている。赤坂城の堀割跡や、御前清水など楽しいウォーキングコースが整備されており、毎年国際自然環境アウトドア専門学校生が全国から大勢の参加を集め、ノルディックウォーキング大会を実施している。

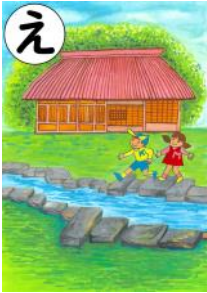
う ウォーキング木もれ陽いっぱいブナ林



く 関山宝蔵院墓所

宝蔵院庭園の背後に歴代院主の墓所が広がっている。第二世院主大僧都俊海(上杉謙信公の甥と伝わる)を中心に15名の院主とその弟子10名の石塔が建っている。妙高山雲上寺宝蔵院は上野(東京)に本拠を構える東叡山寛永寺の末寺で、院主は代々本山から遣わされていた。

く 雲行くや院主の墓地の草紅葉



え 旧庄屋太田家

築三百数十年という太田家は、妙高市に現存する最古の民家である。江戸時代には代々庄屋を務めた。庭園前に積み上げられたすばらしい石垣。庭を流れる坂口新田用水のせせらぎとその周りの苔の美しい景色が心をなごませてくれる。

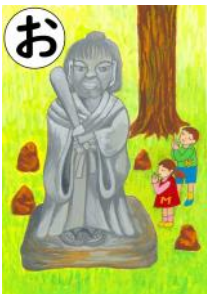
え 江戸時代の庄屋太田家苔みごと



け 座禅石

修行僧が悟りを開くために座禅をしたといわれる石。弘治2年(1556)長尾景虎(のちの上杉謙信公)が出家を決意し、高野山へ向かう途中関山権現に参詣しこの座禅石で心を静めたという。追いついた家臣たちに諭され、隠遁せずすんだと伝えられている。

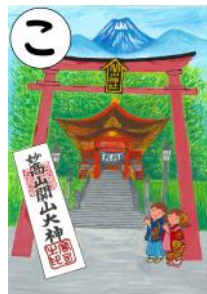
け 謙信公の心を静めた座禅石



お 修那羅(しよなら)さん

大鹿に「安宮神社祭神誕生の地」と称する里宮がある。修那羅さんは江戸時代の寛政7年(1795)に大鹿で生まれ、9才頃に家を出て全国各地を修行し、靈験を得て安宮神社の祭神となった。この像は長野県坂井村の本宮「安宮神社」に奉納された修那羅像である。

お 大鹿出身の神様になったしよならさん



こ 霊峰妙高山

妙高山(標高2,454m)は須弥山(しゆみせん)の別名であり、古代インドの世界観では世界の中央にそびえる秀麗な高山であるといわれている。平安時代頃には、その里宮(関山神社の前身)が建立され、以来村人は守り神として大切に信仰してきている。[神と仏が同居するパワースポット関山といわれる所以]

こ この地域妙高山が守り神



妙高山参詣登山の御影札 (ごえいふだ)

江戸時代の参詣登山の際に関山宝蔵院から登山者に配布されていた護符。山頂に祀られていた阿弥陀三尊像を中心に「山」の字の雪形が配置されている。旧暦の6月23日を登山日と定め参詣登山が行われた。

この御影の版画には「寛保3年(1743)最鎮刻之」と記されている。

山頂の阿弥陀堂参り御影札



大洞原の開拓碑

大洞原の開拓40周年を記念して、昭和62年(1987)に建立。大洞原は戦後の食料不足と戦地からの引揚者の失業対策として開墾され、25戸の開拓者たちが、野菜栽培と酪農経営に力を注いできた。トマトの抑制栽培によって、「高原トマト」として高い評価を得て販売されている。

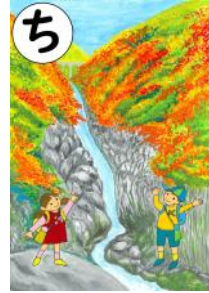
大洞原の歴史を語る開拓碑



社号標

関山神社の社号標は安政6年(1859)に建てられた。江戸時代までの神を仏の化身とみなす「権現」の文字は、明治の神仏分離政策によって姿を消し、かつての関山権現社は「関山神社」に改名された。参道入り口に立つ社号標も「権現」の文字が「大神」に削り直された。

神社の標札「権現」改め「大神」に



不動滝 (別名 大滝)

関温泉の東側を溪谷に向かって進むと、落差20mの滝が流れ落ちている。滝の周辺は新緑から紅葉まで美しく、いやしのスポットとなっている。また滝は水神の化身であるとされ、不動明王の石像を祀る御堂がある。昔、山伏が修行したといわれている。

散るもみじ小路の先は不動滝



大鹿神社の御神木

杉の御神木は大鹿神社のすぐ脇に立っている。根元近くの周囲が9m、途中で3本に分かれている巨木である。樹齢は不詳。小学2年生の児童15人が手をつないでやっと囲める大きさである。しめ縄をつけた御神木は信仰の対象にふさわしい威権を放っている。

杉の御神木 みんなで手つなぎ木をかこむ



惣滝「日本の滝百選」の一つ

燕温泉の奥の惣滝は、標高1,300mの大倉沢にあり、落差80m。「日本の滝百選」に選ばれた滝は迫力があり、ここでも滝行が行われていた。江戸時代の妙高登山道沿いには、他に称名滝、光明滝があり、不動滝と宝蔵院の滝も含め、祈りといやしのパワースポットとなっている。

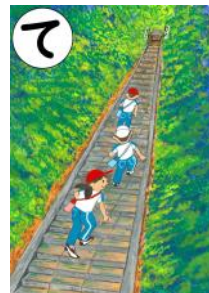
燕の惣滝 落差大きく百選の滝



関温泉・燕温泉

関温泉は神奈山の東麓、標高900mに位置し、温泉の色は茶褐色でアルカリ性である。一方、燕温泉は妙高山の東麓、標高1,100mにあり、硫黄泉で乳白色。二つの温泉地は近くにあるが「赤湯」と「白湯」の特色があり、かけ流しの温泉として観光の大切な資源である。

関の赤湯に燕の白湯に紅白めでたい温泉地



寺尾薬師

寺尾集落から急な石段を登った先に、寺尾薬師がある。元々は高床山にあった薬師だが、その後、御前清水の地を経て寛政元年(1792)に寺尾に御堂が建立されて遷座した。本尊である薬師如来像は、杉材の寄木造りで、室町時代の地方仏師の作とされる。

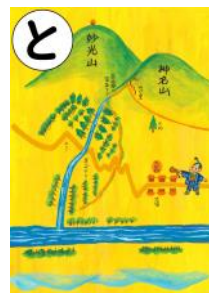
寺尾薬師 九十九段登りつめ



宗祇の句碑

室町時代を代表する連歌師の宗祇は、文明10年(1478)に関山を訪れ、連歌会の発句で、庭園の美しさと霊峰妙高で修行する人々の精神、心を詠んだ。この句は宗祇自選の句集「老葉(わくらば)」「宇良葉(うらば)」に収められている。句碑は平成6年(1994)に建立。

宗祇句碑 水にすむ心やみ山あきの庭



坂口新田

坂口新田は三代将軍徳川家光の命により誕生した。家光の使者が高田藩に向かう途中、大田切で猛吹雪にあい、二俣宿に戻り三日間足止めにあった。それが家光の耳に入り、難儀救済のため、慶安元年(1648)にくじ引きで関山宿と二俣宿から3軒ずつ選ばれて村ができた。

殿様がここにつくれと坂口新田



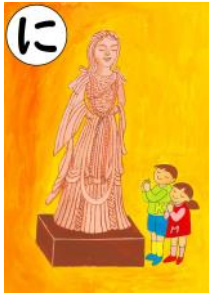
な **石仏群**（新潟県指定文化財）
 関山の集落内には体の上半部のみを彫刻したような珍しい石仏がたくさん残っている。現在、関山神社の妙高堂の脇に26体、集落内の各所に9体が安置されているが、これらは妙高山への道しるべとして、かつては登山道沿いに置かれていたと伝えられている。

仲良しの
 二十六個の
 石仏



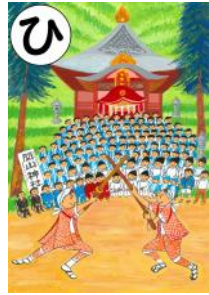
は **大鹿たばこ**
 大鹿たばこは、万治元年（1658）に大鹿村の五郎左衛門が長崎からたばこの種子を取り寄せ、自家用に育てたのが始まりといわれている。元禄12年（1699）には、高田藩主 稲葉丹後守が幕府に献上したとき、これにより大鹿たばこの名が全国に広まった。

幕府に
 献上の
 大鹿たばこ



に **銅造菩薩立像**（国指定重要文化財）
 関山権現の主尊であった菩薩立像は、飛鳥時代に朝鮮半島の百済で製作された渡来仏であり、国内最古級の仏像として高く評価されている。明治元年（1868）に秘仏となったが、昭和36年（1961）に開封されて以降は御神体として本殿に安置されている。（高さ20.3cm）

にこやかな
 観音菩薩は
 日本最古



ひ **仮山伏の棒遣い**（新潟県指定文化財）
 火祭り（正式には「関山神社大祭」という。）で奉納される仮山伏の棒遣いと松引き（柱松行事）は、江戸時代から続く妙高山信仰の伝統を残す神事である。当時から棒遣いは、村の百姓6人が2人1組となり太刀、長刀、六尺棒を用いて演武の型を披露するものであった。

火祭りで
 仮山伏の
 棒つかい



ぬ **国立妙高青少年自然の家**
 平成3年（1991）12月1日にオープンした国立妙高青少年自然の家は、全国最後の14番目に建設された。各施設は星座名を用いている。屋外のキャンプ場や源流体験等の青少年の育成にふさわしい環境が整っており、地元児童は妙高アドベンチャー等の体験を楽しんでいる。

ぬれても楽しい
 青少年自然の家
 源流探検



ふ **仏足石**（新潟県指定文化財）
 安山岩の巨石（高さ200cm、幅120cm）に釈迦の足形等を彫刻したもの。中央に仏足、左側に舍利塔（釈迦の遺骨を納める塔）、右側に仏手華判（釈迦の実印）が彫刻されている。奈良の薬師寺に次いで古く、仏像崇拜以前から信仰されてきた三者を同一面に彫刻したものは日本で唯一といわれている。

仏足石
 お釈迦様の
 足のうら



ね **関山神社社殿・宮殿**（国登録有形文化財）
 雪のなか鎮守の杜は地域の人たちの初詣でにぎわう。現在の檜造りの社殿は、宝蔵院15世院主「薩海」の時代に10年の歳月と1,731両の費用をかけて文政元年（1818）に完成したものである。棟札には棟梁をはじめ多くの高田の職人の名前が記され、彫刻による装飾が多く、派手な意匠となっている。

願いこめ
 関山神社へ
 初詣



へ **北弁天と南弁天**
 妙高山が5000年前に噴火した際の火砕流の巨岩が神社の北と南にある。この2つの巨岩は神様が宿る磐座（いわくら）とされ、江戸時代に水の信仰と習合して弁財天信仰が生まれた。弁財天は音楽、芸能の神様としても信仰されている。

弁財天
 大いわくらに
 奉られて



の **亀石**（妙高市指定文化財）
 関山神社の御手洗池の中にある亀石は、全長120cm、甲幅50cm。亀石は豊作吉祥の神として尊ばれているが、これは朝鮮半島からの渡来人たちによって伝えられた大陸の思想であるといわれている。

のびやかに
 亀石さんは
 池の中



ほ **旧関山宝蔵院庭園**（国指定名勝）
 落差5mの高い滝石組を主景とする池泉庭園。池は、心という字をかたどっているので心字池ともいう。極楽西方浄土とされた妙高山を独占した庭園の景観は、妙高山一帯を所領とした宝蔵院の権威の象徴といえる。庭園自体が「滝」と「岩場」からなる小さな妙高山となっている。

宝蔵院
 滝の上には
 妙高山



ま

松引き（柱松行事）（新潟県指定文化財）

松引きは仮山伏が行う点火競争の神事である。上方（かみかた）、下方（しもかた）にわかれて、仮山伏が火打石でこれに着火し競うのである。上方が早ければ稲作、下方が早ければ畑作が豊作。着火すると大きな歓声があがり吉祥の松を倒し、「若松様…」の祝い唄をうたい子どもが中心となって松を引く。

松引きは豊作願う火のまつり

吉祥の松を倒し、「若松様…」の祝い唄をうたい子どもが中心となって松を引く。



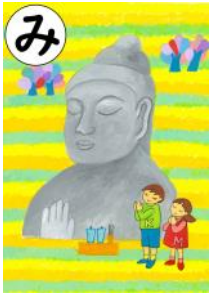
や

大谷の地震供養塚

弘化4年（1847）5月8日の大地震（長野善光寺地震）により、大谷集落では山崩れが発生し、15～16軒が土砂に埋没して60人が犠牲となった。23年後の明治2年（1869）に大谷集落の聞称寺境内に供養塚が

山崩れ六十人を祀る供養塚

建てられた。



み

弥勒菩薩（新潟県指定文化財）

関山石仏群の中で最大の弥勒菩薩像は像高135cmを測り、右手は施無畏印を結んでいる。平安時代末頃に造られたと推定される。参拝すると「歯の痛みが治る」とされ、お礼に年齢の数だけ生の豆を供える

弥勒様お団子ヘアーのおしゃれ仏

慣習があったといわれている。



ゆ

妙高山の雪形

春になると妙高山の中央に雪形の「山」の字がくっきりと現れる。この雪形を合図に麓の農家は苗代づくりや、畑の種まきを始める。寛保3年（1743）の「阿弥陀三尊御影札」にも「山」の雪形が描かれている。妙高山にこの雪形を見るとき、極楽浄土を強く意識し手を合わせたくなる。

雪形の「山」の字正しく楷書なる（秀峰の句）

妙高山にこの雪形を見るとき、極楽浄土を強く意識し手を合わせたくなる。



む

逢龍寺の大いちょう

大鹿の逢龍寺には鎌倉時代作の鉄製十一面観音懸仏（妙高市指定文化財）のほか、親鸞聖人の十字名号や、蓮如上人の筆といわれる六字名号が伝わっている。寺は明治40年（1907）の火災で焼けたが、本堂前

昔を語る逢龍寺の大いちょう

の大いちょうは焼け残り、樹齢700年の大木が、昔の歴史を語っている。



よ

御輿

火祭りの二日目に集落内を巡る御輿は370kgと重い。夜遅くに宮入りする前には、門燈の手前で入れようとする若者会役員と、まだ入れまいとする若者のみ合いが続く。この御輿の擬宝珠は全国でも珍しい火焔を模したものである。門燈をくぐるとお

夜の御輿擬宝珠かがやくお宮入り

ごそかに祭りが終焉を迎える。



め

庚申いっぱい清水

大鹿集落から古塔山まで歩くと、山腹に庚申いっぱい清水が湧き出ている。名水として知られ、新井の君の井酒造がこの清水を使って「妙高天狗の隠し酒」を造っている。清水の山手にある安宮神社はこの

芽吹く山々いつもおいしい庚申清水

古塔山を天狗のようにかけまわったという修那羅さんを祭神としている。



も

奉献俳句額

関山神社の再建成就を願って文化6年（1809）に71首の俳句が奉納された。この俳句の撰者となった松宇は、「一茶十哲」の一人に数えられる長沼（長野市豊野）の名主であった。松宇は奉献額の末尾に

森のうら太鼓びびくや夏まつり（松宇の句）

賑やかな夏まつりの情景を詠んでいる。

ち 地域の「お宝」を探してね！

み 妙高かるたの読み句を募集！

た 楽しい「読み句」を募集！

妙高かるたは2020年秋に完成予定！

みんなが住んでいる妙高地区（旧妙高村地区）には、たくさんのお宝（歴史、史跡、自然、人、文化）があります！

地域のお宝探しに地域に出かけよう！

●問い合わせ先 絵本を楽しむ会ひだまり 担当：川上 美子
TEL：0255-82-2187

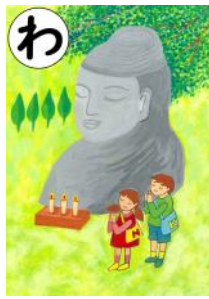
「妙高かるた」読み句募集のポスター（参考イメージ）



ら ライン滑降

関温泉から妙高小学校までの7kmの間を滑走する「妙高ライン7キロ滑降スキー大会」は、昭和38年(1963)に第1回大会が開かれた長い歴史をもつ。毎年小学生から壮年組まで全国からスキーヤーが多数参加しており、参加した子どもの中から、オリンピック選手も出ている。

ら ライン滑降
スキーがうまい
地元っ子



わ 食料地蔵 (新潟県指定文化財)

関山神社の南50mの辻に立つこの石仏は、拝むと食料に困らない地蔵と伝えられているが、実は地蔵ではなく、弥勒菩薩と考えられている。妙高堂の横にある26体の石仏のほか、関山集落内には9体の石仏が点在している。まさに石仏のまち“せきやま”である。

わ 若葉風
辻に御座せる
石仏
(秀峰の句)



り 龍旗 (妙高市指定文化財)

関山神社内に納められている龍旗は、赤い羅紗の布地に金糸と銀糸で、上り龍と下り龍を刺繍した立派な旗である。上杉謙信公が五穀豊穡や領内の平和を祈って、妙高山参詣登山を主催する宝蔵院に奉納されたものとされている。

り 龍の旗
謙信公からの
おくりもの



学校運営協議会の取組として紹介 (表面 参考イメージ)



る 宝蔵院日記 (新潟県指定文化財)

宝蔵院最後の院主第18世量潤が還俗して興した関山家に伝えられた日記史料。正徳2年(1712)から慶応4年(1868)までの156年間の記録は98冊を数え、当時の様子が克明に記録されている。平成18年(2006)から平成22年(2010)までの5か年で活字に直された。

る 楼々の
歴史をのこす
宝蔵院日記



れ 大鹿神社

大鹿は縄文時代後期から人が住み始めた古い村である。集落を見下ろす高台に大鹿神社がある。昭和13年(1938)にそれぞれの地区にあった神明社、諏訪社、春日社、稲荷社と村社の八幡社が合併し、大鹿神社と改称した。静寂のなかに居ると神がすぐ身近に居るよに感じられる。

れ 歴史ある
五社を集めて
大鹿神社



ろ 露天風呂

燕温泉から妙高山登山道を進んでいくと、知る人ぞ知る秘湯「河原の湯」がある。ラジウムが多く溶け込んでいるため、効き目がよいと評判である。また昭和38年(1963)「黄金の湯」が燕温泉の薬師堂の近くに開湯した。いずれも登山客や宿泊客に人気の名湯である。

ろ 露天風呂
登山客に
いやしの湯

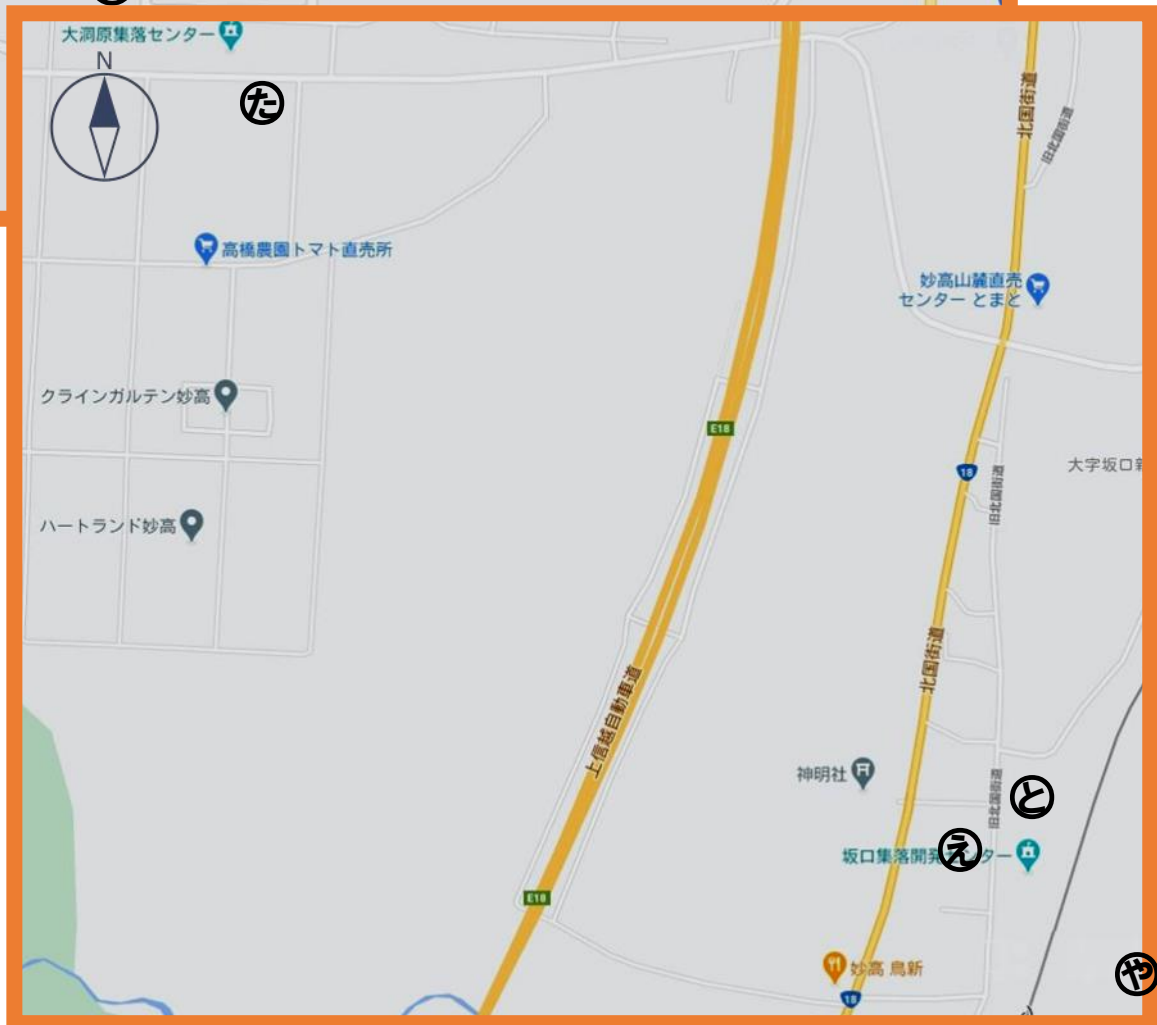
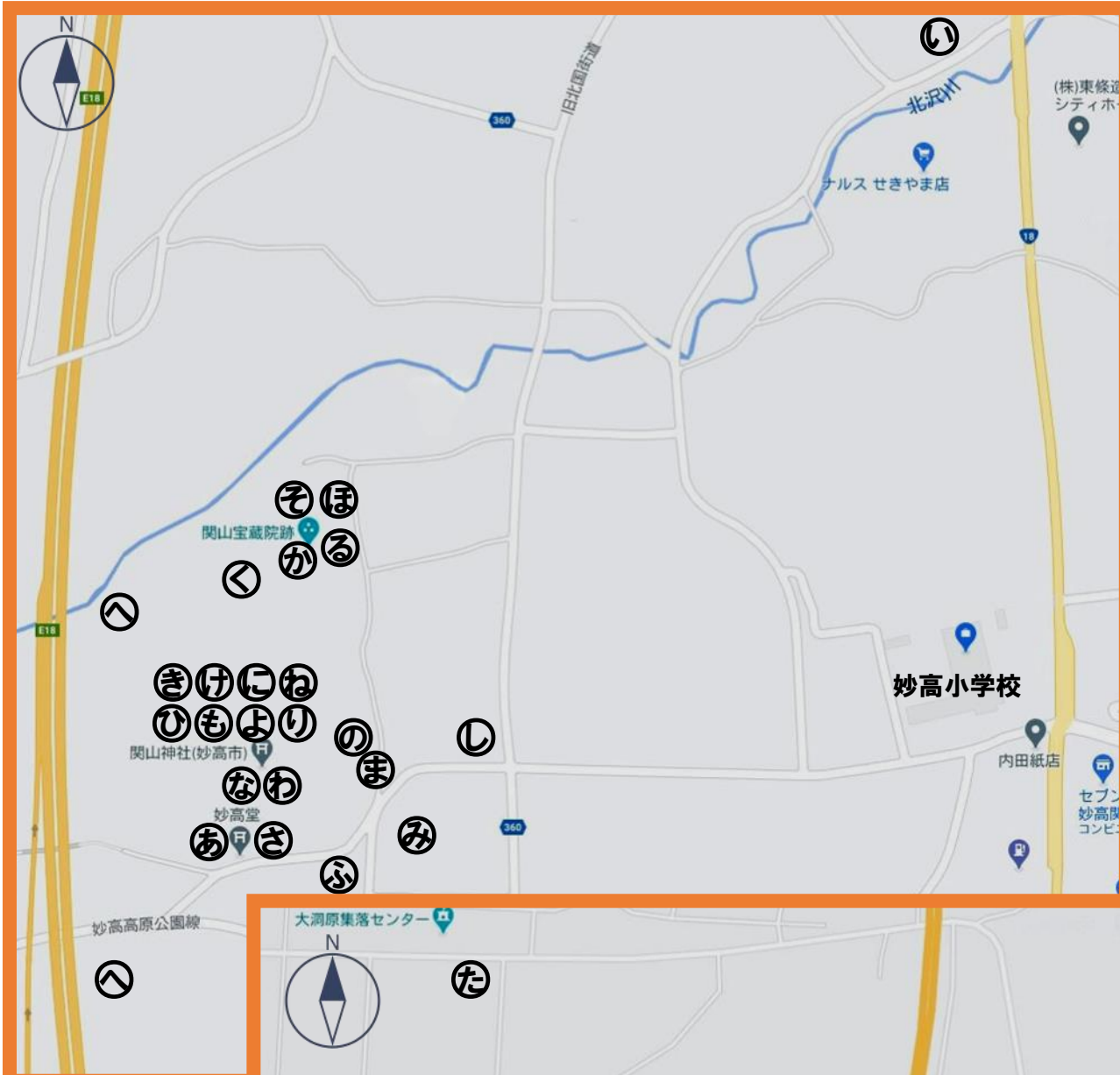


学校運営協議会の取組として紹介 (裏面 参考イメージ)



「妙高かるた」の読み句をいくつか覚えたかな? (あ〜と イメージ)

関山方面の「妙高かるた」地図

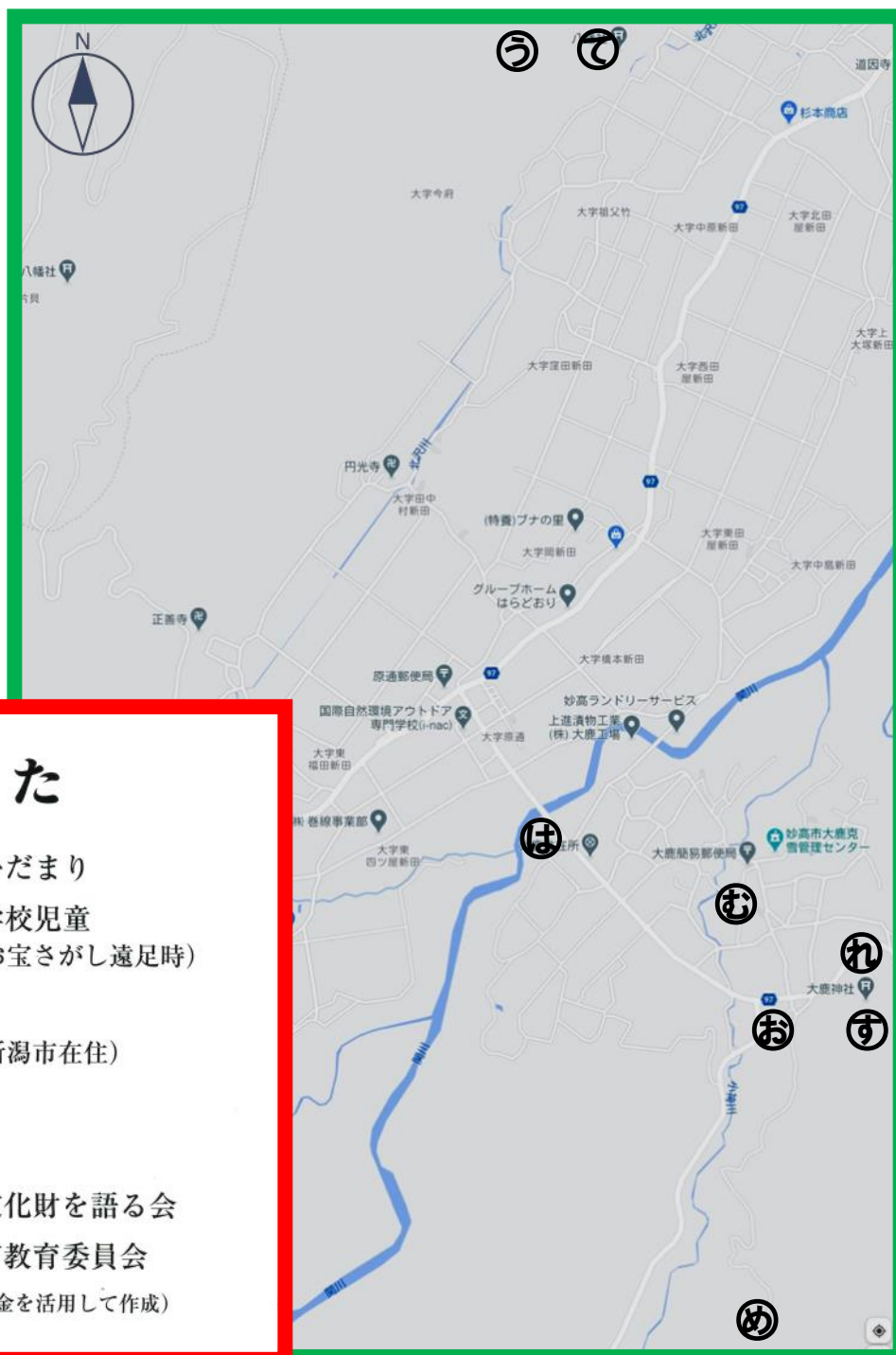


本地図は、Google マップからキャプチャしたものを使用しています。

縮尺は、それぞれの地図で異なります。



大鹿・原通方面の「妙高かるた」地図



妙高かるた

- 製作 絵本を楽しむ会ひだまり
 読み句 妙高市立妙高小学校児童
 (令和元年 お宝さがし遠足時)
 選者 井澤 秀峰氏
 絵 阿部 豊子氏 (新潟市在住)
 題字 八木 静香氏
- 協力 妙高(関山)の文化財を語る会
 地域住民、妙高市教育委員会
 (妙高市地域の元気づくり活動補助金を活用して作成)